

ツアー番号
LKR9FAMYNP

ネイチャーベスト（15日間）

15日間・14泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーは15日間で、南部沿岸からスリランカの熱帯雨林と野生動物の中心地を通り、最後に丘陵地帯と文化三角地帯で終わります。ガレの沿岸湿地帯と植民地時代の要塞建築から始まり、シンハラジャ熱帯雨林、ヤラの乾燥地帯の平原、エラとヌワラエリヤの丘の町を経由してから、キャンディ、ダンブッラ、シギリヤを一周してコロンボで終わります。

旅行者は野生動物との出会い(マドゥ川ボートツアー、シンハラジャ森林、ヤラとミンネリヤのサファリ、ピンナワラの象)、アウトドア活動(ホワイトウォーターラフティング、エラロックハイキング、ホートンプレーンズ散策)、文化遺産地(ガレ要塞、仏歯寺院、ダンブッラ洞窟寺院、シギリヤ岩要塞)のほか、沿岸部および高地の景観、村落およびキャンディアン文化生活の体験を得られます。

ツアーは始終専属の運転手兼ガイドによって運営され、毎日旅行者を次の地域へ移動させながら、その立ち寄り地点で説明されている景観、活動、地元の伝統をカバーしています。



日程詳細

1日目　空港 → ゴール

ツアーは、沿岸部の湿地帯をめぐるボートトリップと、南海岸近くのウミガメ保護プロジェクトの見学から始まります。



マドゥ川

マングローブが生い茂るマドゥ川を2時間かけてボートで巡り、日光浴するワニやオオトカゲ、シナモンの収穫が行われる島、水鳥などを眺めながら、途中でフィッシュマッサージも体験します。

SUPindia · CC BY-SA 4.0

ウミガメ孵化場

スリランカの海岸に産卵する5種の絶滅危惧ウミガメの卵を保護する「コスゴダ・タートルケア・プログラム」を訪問します。子ガメを見たり触れたり、餌をあげたりできるほか、保護されている傷ついた成体のウミガメも見学できます。

2日目 ゴール

ポルトガルとオランダの統治時代の面影を残す古都ゴールを探訪する一日です。



ゴール・フォート(ゴール要塞)

アジアで最も保存状態の良い要塞のひとつで、博物館や灯台、今なおオランダ語の名残をとどめる石畳の通りが残ります。ガイド付きのウォーキングツアーでは、植民地時代の建物やその歴史を辿りながら、キングココナッツや紅茶で一休みする時間もあります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

3日目 ゴール → シンハラージャ

シンハラージャへ向かう途中、紅茶工場の見学と、沿岸に伝わる伝統漁法スティルトフィッシングの見学を楽しみます。



ハンドゥヌゴダ紅茶工場

手で触れることなく摘み取り加工される「ヴァージン・ホワイトティー」の産地として知られています。見学では紅茶とチョコレートケーキの試食ができるほか、お土産として茶葉を購入することもできます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

コッガラのスティルトフィッシング

何世代にもわたりこの漁法を受け継いできた漁師たちが、海岸沿いに立てた杭の上で釣りをします。スティルトフィッシングがスリランカに伝わった経緯を聞きながらその技を見学でき、夕暮れ時には漁師たちのシルエットを海岸線に写真に収める絶好の機会でもあります。

4日目 シンハラージャ

スリランカ唯一の熱帯雨林であり、ユネスコ世界遺産にも登録されているシンハラージャ森林保護区を丸一日かけて巡ります。



シンハラージャ森林保護区

鬱蒼とした常緑の原生林をジャングルサファリで進み、頭上からはサルの鳴き声が響き、色鮮やかな森の鳥たちの姿を垣間見ることができます。葉陰にはグリーンピットバイパーが潜んでいることもあります。

Dan Lundberg · CC BY-SA 2.0

5日目 シンハラージャ → ヤーラ

ヤーラへ向かう道中、世界でも有数の勢いを誇る自然の潮吹き穴に立ち寄ります。



フンマーナヤ・ブローホール

クダウェラ村近くにある、世界で2番目の規模ともいわれる潮吹き穴です。岩の間から海水が勢いよく噴き上がり、その名の由来となった低いうなり音を響かせます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

6日目 ヤーラ

島の南東海岸に位置するヤーラ国立公園で、丸一日サファリを楽しみます。



ヤーラ国立公園

スリランカで2番目に広い国立公園で、ヒョウや野生のスイギュウ、ナマケグマの生息地として知られ、大群で移動するゾウの姿も見られます。公園にはこのほかにも数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、無脊椎動物が生息しています。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

7日目 ヤーラ → エラ

この日は、地元の伝説にまつわる滝と、高原地帯屈指の絶景スポットへのハイキングを組み合わせて楽しみます。

ラワナ・エラ(ラワナ滝)

エラ・ウェラワヤ道路沿い、ウドゥヌワラ村近くに位置する滝で、ラワナ王がシーター姫をこの滝の裏の洞窟に隠したという伝説が残されています。

エラ・ロック

約3時間かけて、この地域屈指の高さを誇る展望地まで登るハイキングです。途中、ナムヌクラ山脈やリトル・アダムスピークの眺望が広がります。頂上からは、バンダラワラ山脈、プーナガラ丘陵、ナランガラ、エラ・ギャップ、バドゥッラへ続く鉄道線路などの名所を望むことができます。

8日目 エラ → ヌワラエリヤ

かつて英国の避暑地として栄えたヌワラエリヤで過ごす一日です。



ヌワラエリヤの町

19世紀から20世紀初頭にかけて、イギリス統治時代随一のリゾート地として栄えた町で、当時の面影を残すコテージや別荘、邸宅が今も通りに並びます。見どころには、赤レンガ造りの古い郵便局や、クイーンズ・ビクトリア公園、グレゴリー湖畔でくつろぐひとときも含まれます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

9日目 ヌワラエリヤ → ホートンプレインズ → ヌワラエリヤ

高原の草原地帯が広がるホートンプレインズへの日帰り旅行です。



ホートンプレインズ国立公園

オヒヤに広がる高原の草原と雲霧林で、絶壁「ワールズ・エンド」からの眺望や、涼やかな水しぶきをあげるベイカーズ滝が見どころです。この平原には数多くの固有種が生息し、考古学的発見もなされてきました。

Faslan at en.wikipedia · CC BY-SA 3.0

10日目 ヌワラエリヤ → キトゥルガラ → キャンディ

キャンディへ向かう道中、ホワイトウォーターラフティングと、スリランカで最も有名な象の保護施設への訪問を楽しみます。

ケラニ川ホワイトウォーターラフティング

ケラニ川の急流を5km下るラフティング体験で、随所に安全対策が講じられています。



ピンナワラ象の孤児院

サバラガムワ州のピンナワラ村にあり、自然の生息地を失ったり離れ離れになったりした子ゾウたちを保護しています。約70頭を飼育しており、世界最大の飼育下ゾウの群れとして知られ、間近で動物たちと触れ合うことができます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

11日目 キャンディ

キャンディ地方の伝統芸能と、市内で最も重要な宗教的聖地を組み合わせて巡る一日です。



キャンディ文化舞踊ショー

1時間にわたるスリランカの伝統芸能のパフォーマンスで、火の踊り手や剣の踊り手、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアンダンサーたちが登場します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0



仏歯寺

16世紀に建立された、仏陀の聖なる歯牙を安置し守るためのユネスコ世界遺産です。赤、クリーム色、黒を基調とした華やかな装飾の広間や、彫刻が施された柱、金箔を纏った仏像が特徴です。

A.Savin · FAL

12日目 キャンディ → マータレ → ダンブッラ

この日はダンブッラの石窟寺院を訪れたのち、午後にはミンネリヤ国立公園でサファリを楽しみます。



ダンブッラ黄金寺院

紀元前1世紀にまで遡る石窟寺院で、仏陀ゴータマの生涯を描いた古代の壁画や、神王の洞窟、大王の洞窟、大新僧院を含む5つの主要な洞窟に数百体もの仏像や神像が安置されています。石窟群から少し離れた場所には、巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5



ミンネリヤ国立公園

3時間にわたる公園内サファリで、5月から10月の乾季に150頭を超えるゾウが一か所に集結する「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られています。公園内の低木地帯や森林には、ほかにも数多くの哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類が生息しています。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

13日目 ダンブッラ → シギリヤ → コロンボ

この日はシギリヤ・ロック・フォートレスへの登頂と、伝統的な村の暮らしの体験を組み合わせて楽しみます。



シギリヤ・ロック・フォートレス

5世紀にカーシャパ王によって築かれた岩の要塞で、巨大なライオンの爪をかたどった入口から入ることから「ライオン・ロック」の名で知られています。登頂の途中では、有名な古代壁画やテラス状の庭園、今も機能する貯水槽、急な階段を通り、トンネルを抜けて宮殿跡へと至ります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

シギリヤ村体験

昔ながらの暮らしを今に伝える村を訪れ、牛車に乗ったり、穏やかな湖でカタマラン・サファリを楽しんだり、水田を歩いたり、伝統的な料理のデモンストレーションを見学したりします。体験の締めくくりには、蓮の葉と編みかごを使って供される手作りの昼食をいただきます。

14日目 コロンボ

スリランカの首都コロンボを探訪する一日です。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館など首都の名所を巡るほか、独立記念広場やレースコース周辺のモールやブティック、デザイナーズショップでのショッピングを楽しむ時間もあります。

Gihanud2001 · CC0

15日目 コロンボ → 空港

朝食後、ホテルをチェックアウトし、空港へ向けて出発します。

含まれるもの

含む

- Accommodation at 3 Star Hotels.
- Meal plan on Bed and Breakfast basis.
- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.